

栄冠は誰の手に？

未来のスターを選ぶオーディション開催

若き3つの才能がMeet the Classic Vol.49で関西フィルと夢の協演

「ライジングスター・プロジェクト」ソリスト選考オーディションが8月26日、関西フィルハーモニー管弦楽団の本拠地である門真市民文化会館ルミエールホールで行われました。同プロジェクトの初年度となる今回は、10歳から33歳までの80名の応募者の中から、書類選考・演奏動画審査を突破した11名のファイナリストが実演審査に挑みました。ピンと張りつめた空気の中、ピアノ、声楽、マリンバ、ファゴット、フルートなど様々な楽器の奏者たちがあらかじめ選んだ曲の中から審査員が指定した部分を、渾身の力を込めて演奏しました。

選考の結果、今すぐ輝けるスターのレベルに到達した方の選出には至りませんでした。審査にあたった藤岡幸夫氏から「将来スターとして大きく成長する可能性が非常に高い」と評されたコントラバスの十河七海さん、チェロの林成さん、ヴァイオリンの大屋響さん(演奏順)が優秀賞に



(左から)藤岡幸夫氏、大屋響さん、林成さん、十河七海さん

選ばれました。3名は来年8月11日(月・祝)に開催する「Meet the Classic Vol.49」で、藤岡氏が指揮する関西フィルとの協演が決定しました。



十河七海さん 27歳 (コントラバス)

今回、コントラバスという、ソロ楽器として知られていない楽器を選んでいただいたことを、うれしく思います。コントラバスは扱いにくさからソロに適さないと思われがちですが、他の弦楽器に負けない力があります。演奏を通して、その魅力を伝えたいと思います。



林成さん 14歳 (チェロ)

以前、関西フィルと協演した時よりも成長した姿を皆さんにお届けできるよう頑張ります。僕が尊敬するチェリスト、ダニエル・シャフランの演奏は非常に個性的で、堂々と弾き続ける姿勢が素晴らしく、彼のように個性を大切にしながら、これから成長していきたいです。



大屋響さん 16歳 (ヴァイオリン)

オーケストラと協演できる機会はなかなかないので本当にうれしく、感謝しています。まだ演奏曲は決まっていますが、自分の中から湧き上がる音楽を藤岡先生とオーケストラの方々につけ、また私も音楽を受け取り、濃厚な時間を皆さんと共有できるような演奏を目指します。

誰にも負けない2つ以上の輝く強みを

藤岡氏は「どなたの演奏も本当に素晴らしかったが、優秀賞の3人は絶対普遍的にアピールする光るものを2つ以上持っていた。何かに成功するためには、他の誰にも負けない2つの強みを持つことが重要。それにより将来が大きく変わるだろう。皆さんも自分の魅力を見つけ、それを磨いてほしい。今日選ばれなかった方々も来年またチャレンジしてください。これから協演する機会がきっとあると信じている」とすべての参加者の努力をたたえ、未来への期待を込めエールを贈りました。



実演審査にあたる藤岡幸夫氏(左から3人目)

Meet the Classic Vol. 49 公演情報

日時：2025年8月11日(月・祝)15時開演
会場：住友生命いずみホール(大阪市中央区城見1丁目4-70)
公演名：関西フィルハーモニー管弦楽団「Meet the Classic Vol.49」
指揮：藤岡幸夫(関西フィル首席指揮者)

プログラム

・前半：優秀賞の3人がそれぞれ15分以内の曲で協演
・後半：関西フィルハーモニー管弦楽団による演奏
※チケットは2025年4月発売予定